



広報 ほうじょう

町の人口
(昭和54年8月31日現在)

		前月比較
男	3,876	(0)
女	4,126	(-1)
計	8,002	(-1)
世帯数	2,371	(+5)

四期目に臨んで

町長 中島 義章



切れになるということでございます。もちろんこれらの諸法律が失効すると、方城町の振興に大きな障害になることは、火を見るより明らかであります。関係市町村、関係組織、地域住民会議など、あげて法延長に努力しておりますので、なんらかの措置がはかられる状態ではあります。この数年間の内、法律の存在中に我々の方城町が、解決しておかねばならない問題が、たくさんあります。

日中はまだ残暑を感じる季節ですが、町民の皆様には益々御清祥のこととお慶び申し上げます。私、去る九月二十三日の町長選挙において、無投票当選の栄に浴し、引続いて町政を担当させていただきますことになりました。

時あたかも産炭地市町村にとって重大な時局に立ち至っております。すなわち産炭地域浮揚のための関係法律

※産炭地域振興臨時措置法
(昭和五六年十一月二日)

※石炭及び石油対策特別会計法
(昭和五七年三月三日)

※炭鉱離職者臨時措置法
(昭和五七年三月三十一日)

※臨時石炭鉱害復旧法
(昭和五七年七月三十一日)

※石炭鉱害賠償等臨時措置法
(昭和五七年七月三十一日)

が、ここ三年以内にほとんど期限

- 一、失業者対策
- 二、鉱害復旧
- 三、農業振興
- 四、住宅整備
- 五、下田川公立病院の建設
- 六、町財政の健全化
- 七、人づくり

等でございます。町民の一人ひとりが、方城町は住み良いところだと思える町づくりに。

町民の一人ひとりが、方城町民であることに誇りを持てる、そんな方城町にするために、私達は全力投球してがんばらなければなりません。

一〇〇年の顔

大字伊方犬屋、赤松キクさん(一〇〇才) 当町の長寿番付一番だ。一世紀にわたる風雪に耐えた顔、苦難にへこたれない楽天主義は光栄ある町の歴史を築いてきた先人の持ち味であり、貴重な遺産である。

赤松キクさんに聴く

大字伊方犬屋
(明治十二年二月三日生)

◎ 特別の健康法？

特別にそういう事を考えて行動している訳ではありませんが、出来るだけ体を動かしています。庭のそうじと草取り

(家族の人の話によれば、力士の名前は覚えていないようだが、北ノ湖、輪島が土俵に上がれば、顔を覚えていて一生懸命応援するという。

◎ 好きな食物？

特別に好きな食物といっても、思いつきませんが、私は嫌いな食物はありません。何でも感謝しながらいただいております。

◎ やりたいこと
畑仕事が好きです。…(現在、車庫等が建ったため畑はない)



◎ 楽しみ

耳が遠いのでテレビはあまり見ませんが相撲が好きでよく見ます。

与野党を問わず、私に対し初心に帰れと要求しております。

謙虚な気持で町民皆様の声に耳を傾け、自己反省をしながら町政



に携わることをお約束して、ごあいさつにかえさせていただきます。
(昭和五十四年九月二十九日)